

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第35期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	イマジニア株式会社
【英訳名】	Imagineer Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼CEO 神藏 孝之
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿二丁目7番1号
【電話番号】	03(3343)8911(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役兼CFO 中根 昌幸
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿二丁目7番1号
【電話番号】	03(3343)8911(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役兼CFO 中根 昌幸
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第2四半期 連結累計期間	第35期 第2四半期 連結累計期間	第34期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	2,602,760	1,961,553	4,851,902
経常利益(千円)	593,404	268,762	689,014
四半期(当期)純利益(千円)	373,385	153,653	414,585
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	362,412	120,040	418,655
純資産額(千円)	7,754,113	7,542,674	7,577,867
総資産額(千円)	8,610,059	8,069,199	8,557,954
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	37.61	15.92	42.01
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	90.0	93.4	88.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	257,444	8,285	458,683
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	122,455	132,853	208,951
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	118,337	159,507	354,312
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	6,596,656	6,187,064	6,228,206

回次	第34期 第2四半期 連結会計期間	第35期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.56	5.40

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第34期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

当第2四半期連結累計期間において、モバイルコンテンツ事業に携っていた当社の連結子会社であったソリッドロジックス株式会社は、平成23年4月1日付けで当社を存続会社とする吸収合併により解散しております。

第1四半期連結会計期間より、投資教育事業の収益化が見込まれるため「投資教育事業」セグメントを新設しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、東日本大震災の影響に加え、その後の電力供給の制限や原子力災害の影響により、景気は持ち直し傾向にあるものの依然として厳しい状況にあります。

当社グループの主力事業であるモバイルコンテンツ事業を取り巻く環境は、スマートフォンを中心とした携帯電話端末やタブレット端末などの普及により、音楽・映像・電子書籍等のコンテンツサービスは広がりを見せております。

このような環境下におきまして、当社グループは中期的な経営の方向性を「新たな成長へのチャレンジ」と定め、中長期的な収益モデルの育成に注力しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,961,553千円（前年同期比24.6%減）、営業利益276,800千円（前年同期比55.3%減）、経常利益268,762千円（前年同期比54.7%減）、四半期純利益153,653千円（前年同期比58.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （モバイルコンテンツ事業）

モバイルコンテンツ事業におきましては、スマートフォン向けコンテンツの提供の強化を図るため、月額課金サービスの提供やアプリ販売などに注力しております。

また、フィーチャーフォン向けの月額課金サイトについては、会員数の減少が続くため、会員数の維持に向けた施策に取り組んでおります。

上記の結果、売上高1,473,735千円（前年同期比20.0%減）、営業利益464,920千円（前年同期比29.7%減）となりました。

#### （モバイルコマース事業）

モバイルコマース事業におきましては、モバイルサイト上でのキャラクター限定商品の増加による売上高の拡大とライセンス及びセールスプロモーションビジネスではライセンス販売先の拡充に取り組んでおります。

上記の結果、売上高183,469千円（前年同期比1.5%増）、営業損失8,504千円（前年同期は6,494千円の営業損失）となりました。

#### （パッケージソフトウェア事業）

パッケージソフトウェア事業におきましては、定番化を目指す「Enjoy Diet！」シリーズの新作として「ピリーズブートキャンプWiiでエンジョイダイエット！」をWii向けタイトルとして発売しました。また、今年発売となった携帯型ゲーム機「ニンテンドー3DS」向けタイトルの開発を進めております。

上記の結果、売上高279,123千円（前年同期比52.7%減）、営業利益18,909千円（前年同期比91.0%減）となりました。

#### （投資教育事業）

投資教育事業におきましては、事業開始からテストを繰り返してきた投資信託販売支援システムの銀行及び証券会社等の販売会社への営業展開と当該システムの導入先の拡大に備えたファンドデータの充実を図っております。

なお、第1四半期連結会計期間より売上高が計上されております。その結果、売上高25,368千円、営業損失41,393千円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、6,187,064千円と前連結会計年度末より41,141千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8,285千円(前年同期比96.8%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益271,483千円及び売上債権の減少145,183千円による増加があったものの、営業未払金の減少139,235千円、未払金の減少133,990千円及び法人税等の支払額206,225千円による減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は132,853千円(前年同期比8.5%増)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入322,972千円による増加があったものの、投資有価証券の取得による支出136,166千円による減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は159,507千円(前年同期は118,337千円の資金減少)となりました。これは主に、配当金の支払額115,355千円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、83,381千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	47,480,000
計	47,480,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,649,000	10,649,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	10,649,000	10,649,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	10,649	-	2,669,000	-	667,250

( 6 ) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
II B株式会社	東京都渋谷区大山町34-17	2,700	25.4
神藏 孝之	東京都渋谷区	1,803	16.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	229	2.2
坂本 昭仁	兵庫県姫路市	175	1.6
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルピーエルシー (常任代理人 モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社)	25 CABOT SQUARE, CANARYWHARF, LONDON E14 4QA, U.K. 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号	150	1.4
坂本 よし子	兵庫県姫路市	100	0.9
中根 昌幸	東京都杉並区	86	0.8
ユービーエス エージー ロンドン エーシー アイピービー セグリゲイテッド クライアント アカウ ント (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	BAHNHOFSTRASSE 45, 8001 ZURICH, SWITZERLAND 東京都品川区東品川2丁目3番14号	79	0.7
澄岡 和憲	東京都中央区	67	0.6
玉村 剛史	東京都文京区	66	0.6
計	-	5,457	51.3

(注) 1.上記のほか当社所有の自己株式1,051千株(9.9%)があります。

2.上記、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は229千株であります。

(7) 【議決権の状況】  
 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,051,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,595,500	95,955	
単元未満株式	普通株式 2,400		
発行済株式総数	10,649,000		
総株主の議決権		95,955	

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
イマジニア株式会社	東京都新宿区 西新宿二丁目7番 1号	1,051,100		1,051,100	9.9
計		1,051,100		1,051,100	9.9

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,228,206	6,187,064
受取手形及び売掛金	967,629	822,445
商品及び製品	15,617	17,190
仕掛品	939	676
原材料及び貯蔵品	8	5
その他	131,017	91,803
貸倒引当金	23,139	41,522
流動資産合計	7,320,280	7,077,663
固定資産		
有形固定資産	130,916	118,494
無形固定資産	28,638	42,493
投資その他の資産		
投資有価証券	659,974	424,091
その他	456,304	441,015
貸倒引当金	38,159	34,559
投資その他の資産合計	1,078,119	830,547
固定資産合計	1,237,674	991,535
資産合計	8,557,954	8,069,199
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,492	10,284
営業未払金	452,842	313,607
未払法人税等	214,420	90,313
賞与引当金	-	8,500
その他	287,702	97,441
流動負債合計	971,457	520,146
固定負債	8,629	6,378
負債合計	980,087	526,524
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	3,050,607	3,088,083
自己株式	582,500	622,240
株主資本合計	7,603,130	7,600,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,707	61,321
その他の包括利益累計額合計	27,707	61,321
新株予約権	2,444	3,129
純資産合計	7,577,867	7,542,674
負債純資産合計	8,557,954	8,069,199

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	2,602,760	1,961,553
売上原価	1,160,414	934,804
売上総利益	1,442,345	1,026,748
販売費及び一般管理費	823,725	749,947
営業利益	618,620	276,800
営業外収益		
受取配当金	132	4,718
投資事業組合運用益	-	7,686
貸倒引当金戻入額	3,600	3,600
その他	1,544	1,560
営業外収益合計	5,276	17,564
営業外費用		
投資事業組合運用損	2,946	-
為替差損	19,958	22,772
持分法による投資損失	7,585	1,043
その他	1	1,786
営業外費用合計	30,491	25,602
経常利益	593,404	268,762
特別利益		
投資有価証券売却益	114,414	26,689
特別利益合計	114,414	26,689
特別損失		
投資有価証券売却損	-	22,219
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,490	-
その他	-	1,749
特別損失合計	5,490	23,969
税金等調整前四半期純利益	702,328	271,483
法人税、住民税及び事業税	274,407	80,919
法人税等調整額	54,535	36,910
法人税等合計	328,943	117,830
少数株主損益調整前四半期純利益	373,385	153,653
四半期純利益	373,385	153,653

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	373,385	153,653
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	10,973	33,613
その他の包括利益合計	10,973	33,613
四半期包括利益	362,412	120,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,412	120,040
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	702,328	271,483
減価償却費	11,730	20,530
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,515	14,783
賞与引当金の増減額(は減少)	12,879	8,500
受取利息及び受取配当金	1,156	5,247
為替差損益(は益)	19,958	22,772
投資有価証券売却損益(は益)	114,414	4,470
投資事業組合運用損益(は益)	2,946	7,686
持分法による投資損益(は益)	7,585	1,043
売上債権の増減額(は増加)	146,626	145,183
たな卸資産の増減額(は増加)	7,465	1,307
仕入債務の増減額(は減少)	8,420	6,208
営業未払金の増減額(は減少)	91,199	139,235
未払金の増減額(は減少)	77,618	133,990
その他	4,877	23,986
小計	615,173	210,138
利息及び配当金の受取額	1,226	4,265
法人税等の還付額	-	106
法人税等の支払額	358,955	206,225
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,444	8,285
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	6,816	46,876
投資有価証券の取得による支出	3,514	136,166
投資有価証券の売却による収入	129,385	322,972
無形固定資産の取得による支出	1,458	17,162
敷金及び保証金の回収による収入	6,310	10,510
その他	1,450	424
投資活動によるキャッシュ・フロー	122,455	132,853
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	37	41,526
配当金の支払額	118,299	115,355
その他	-	2,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	118,337	159,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,958	22,772
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	241,603	41,141
現金及び現金同等物の期首残高	6,355,053	6,228,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 6,596,656	1 6,187,064

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 連結子会社であったソリッドロジックス株式会社は、第1四半期期首での当社による吸収合併により、連結子会社ではなくなりました。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
賞与引当金繰入額 12,879千円	賞与引当金繰入額 8,500千円
支払手数料 246,882千円	支払手数料 228,039千円
貸倒引当金繰入額 10,115千円	貸倒引当金繰入額 18,383千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 6,596,656千円	現金及び預金勘定 6,187,064千円
現金及び現金同等物 6,596,656千円	現金及び現金同等物 6,187,064千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月12日 取締役会	普通株式	119,119	12	平成22年3月31日	平成22年6月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年10月29日 取締役会	普通株式	99,265	10	平成22年9月30日	平成22年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月11日 取締役会	普通株式	116,177	12	平成23年3月31日	平成23年6月13日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	95,978	10	平成23年9月30日	平成23年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,832,408	180,347	590,004	2,602,760	-	2,602,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,000	384	289	9,673	(9,673)	-
計	1,841,408	180,731	590,293	2,612,434	(9,673)	2,602,760
セグメント利益(又は損失)	661,117	(6,494)	210,712	865,335	(246,715)	618,620

(注)1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去 6,882千円、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用 239,832千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にか  
 かる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	投資教育 事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	1,473,735	183,469	278,979	25,368	1,961,553	-	1,961,553
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	143	-	143	(143)	-
計	1,473,735	183,469	279,123	25,368	1,961,696	(143)	1,961,553
セグメント利益 (又は損失)	464,920	(8,504)	18,909	(41,393)	433,931	(157,130)	276,800

(注)1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去614千円、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用157,745千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる  
 費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、投資教育事業の収益化が見込まれるため「投資教育事業」セグメントを新設して  
 おります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	37円61銭	15円92銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	373,385	153,653
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	373,385	153,653
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,926	9,647
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記  
 載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成23年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の金額・・・・・・・・・・95百万円
- (ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・10円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成23年12月2日
- (注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

イマジニア株式会社  
取締役会 御中

### 東陽監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小林 伸行 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 佐山 正則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイマジニア株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イマジニア株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。